

鈴木ひでなおの 6月議会報告

議案審議

ふるさと納税の使い道が広がる



災害復旧や防災関係等多様な分野で寄附を募ることが可能になります。ガバメントクラウドファンディングもできるので、文化施設やスポーツ施設の充実にも使えることになります！

補正予算で充実！

- ・公共交通への支援
～バスやタクシーの運転手確保や燃料代の補助
- ・町立保育園の保育士の確保
～人材派遣会社に依頼
- ・高齢者のインフルエンザワクチン接種
～窓口負担を1,500円から無料に
- ・中学生の地域スポーツクラブ体制づくり
～休日の部活動を地域へ

☆ 第13号 ☆

発行 令和7年7月7日

発行及び編集人
鈴木ひでなおを育てる会

📢 3つの質問をしました

Q1 当町の学校教育について

※質問と回答は、要旨です。「原文通り」ではありません。

- ①生徒の希望を叶える部活動の方策は
- ②不登校児童生徒のための校内教室は
- ③登下校の安全確保は
- ④学校教育の特色は

A1 学校教育課長

- ① 合同部活動や拠点校部活動を行いできるクラブから休日の地域クラブへの移行を進めます。
- ② 校内教室については、研究します。
- ③ 自転車通学については、安全点検と安全指導を徹底します。
- ④ おがわ学では、自分たちの学びと実社会が結びつくような取組を考えていきます。

Q2 駅周辺の新規店舗への支援は

A2 にぎわい創出課長

・商工会や観光協会とともに店舗のPRやパンフレット等への店舗情報の掲載、各種イベントへの参加による販路拡大の支援をしています。商店会へは、イベントへの補助をしています。また、町職員へ店舗情報を周知し、利用を促しています。

Q3 防犯対策について

- ①さらなる防犯の取組は
- ②防災無線の有効活用を
- ③緊急回覧やSNSの活用は

A3 防災地域支援課長

- ① ウルトラ防犯パトロール隊の活動や防犯講習会、こどもあんしん110番の家事業等を行っています。
- ② 小川警察署からの依頼によって防災無線や町情報メールで周知します。
- ③ SNSについては、埼玉県警察で5つの情報ツールで不審者情報や凶悪事件情報をタイムリーに届けています。これらの情報ツールについて、周知に努めていきます。

私の所感

◎小川町周辺の店舗は、町の顔です。駅に降り立った方や道の駅から町なかへ立ち寄った方の第一印象になるわけです。

せっかく新規で開業した店舗にはぜひ持続してほしいのですが、とにかく人通りが必要です。そこで、

◎賑わう道の駅から、電動自転車や電動トゥクトゥクで周遊する際、町なかの店舗情報や地図、イベント情報をQRコードで発信するようにはどうか。

◎道の駅のウェブサイトや商店会のウェブサイトへのバナーリンクを設置することも効果がある。

◎鉄道や路線バスと連携して、町なかを巡るスタンプラリーやイベントを企画して実施してほしい！

📢 今後の私の検討課題

【町内でお金を循環させる仕組み】

人口が減少し少子高齢化が続く限り、税収が減っていく傾向は続きます。町としては、企業誘致や移住を進めていますが、一朝一夕ではいきません。

町の予算は、今年度110億を超えましたが、そのうち町の自由になる予算は1割程度です。約11億で新たな事業をやろうとしてもできないのが実情です。そこで、町民税や固定資産税以外のお金を生み出す必要があります。目をつけたのが町から外へ出て行っているお金を、町内で循環させるということです。これも簡単ではありませんが、取組む価値があると考えます。

ご意見・ご要望は



070-5374-5891



marusu745340@gmail.com



YouTube



ホームページ



年2回開催の『みなさんの声を聞く会』

3つの政策の進捗状況

1 自然環境を守る

道の駅がリニューアルして賑わっていますが、有機農家のみなさんの野菜も毎日完売しているようです。ただ、売り場としては「おがわん」という表示で「有機」ではありません。「和紙と有機の里」がコンセプトの道の駅にもかかわらず、有機JASの認証を取っていないという理由で「有機」を謳えないというのです。難しい問題ですが、町と事業者に働きかけていくつもりです。

有機JAS



農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然界の力で生産された食品であることを示すための国家規格。

2 子育てをサポート

放課後の子ども達の居場所として、今ある学童クラブ・放課後子ども教室・児童館・子ども食堂について改めて見て、これだけで子どもたちのニーズに応えられるか考えてみたいと思います。

3 高齢者をサポート

高齢者の交通手段としての移送サービスを担ってきたNPO法人の「ほっとライフ」がとうとう今年度末で閉じることになりました。「ほっとライフ」に頼っていた方々は、困ってしまうと思います。代わりの手立てを町にも考えてもらわなければなりません。

キラ十里山祭り

去る6月21日(土)飯田の体験広場で、朝10時から夕方6時過ぎまで、10グループを超える個人団体が様々な楽器を駆使して、歌あり、踊りあり、和太鼓演奏もあるバラエティに富んだ一日をくり広げました。

体験広場は山あいであり、林の中で切り株や丸太に座っての鑑賞でした。炎天下ながら木陰が多く風もあり気持ちいい空間でした。

最後に全出演者によるセッションがあり、参加者も一体となって盛り上がりました。



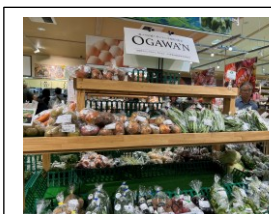
文化のある町はいい！

道の駅オープン



朝 8 時に朝礼

9時オープンに備え、スタッフは毎朝、打ち合わせと接客の気合いを入れているとのこと。
「いらっしゃいませ！ありがとうございます！」



途中で入荷の野菜があると

「ただいま、〇〇農園の〇〇が入荷しました」とすかさず放送が入ります。
このような取組があって、野菜は完売とのこと。農家さんも喜んでます。

にぎわいの継続のために ~必要なことは~

◎「おがわ〇〇」という商品が並んでいますが…

おがわ由来のものは見当たりません。
本来の小川らしさを！

◎「手漉き和紙と有機の里」の実現を
コンセプトに合った道の駅にしてい
くことが求められると思います。

来場者の声

- ・駐車場が広がった！
- ・トイレがきれいになった！
- ・ねぎパンが美味しい！

来場者の声

- ・もっと野菜を置いてほしい。
- ・和紙製品の充実を！
- ・ドッグランがほしい。



風が気持ちいい、トゥクトゥク